

第二回 新型コロナ対応に関わる 学部と学生との意見交換会

アンケート集計結果 配布資料

2月12日(木)

第二回 新型コロナ対応に関わる学部と学生の意見交換会アンケート 結果

実施日：2021 年 1 月 24 日 19:00～2021 年 2 月 10 日 21:00

広報形態：自治会 Twitter、自治委員へのメール

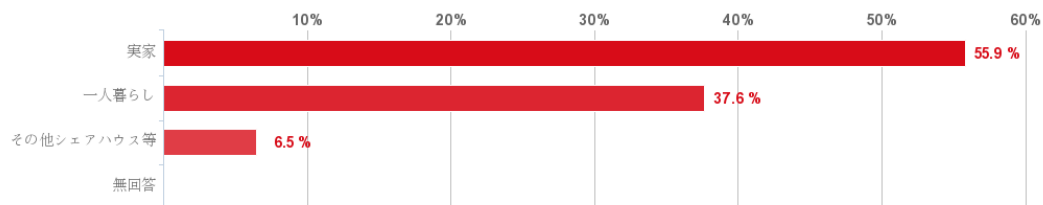
回答数：170 件

以下、回答結果

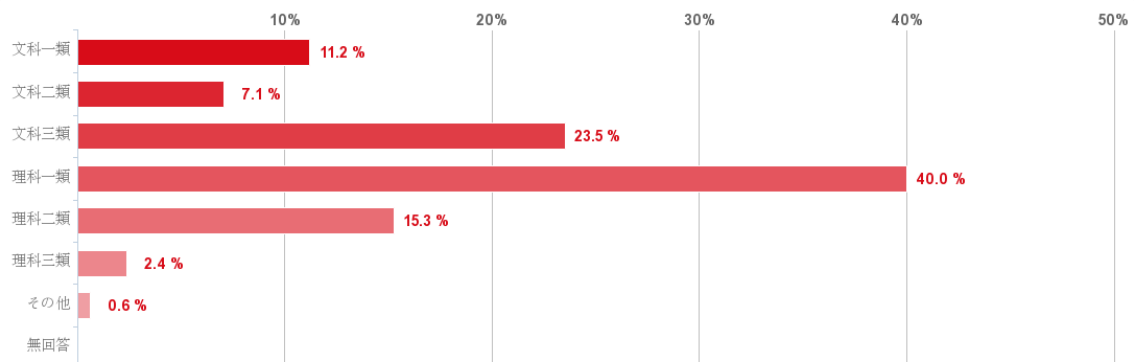
なお、意見交換会に直接関連しない質問に関しては結果の掲載を割愛した

基本情報

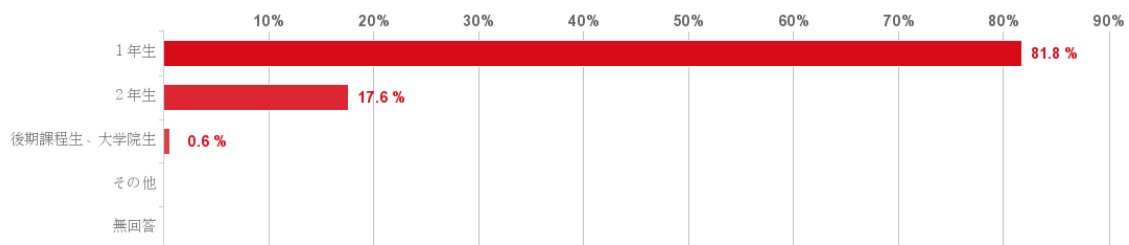
Q1.回答者の現在の住居形態



Q2.回答者の科類

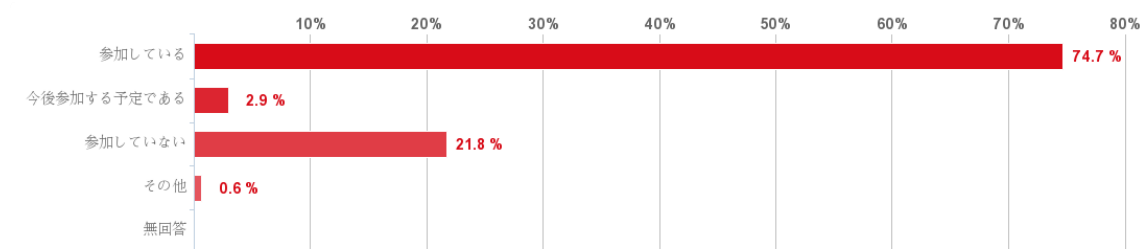


Q3.回答者の学年



課外活動・新歓関連

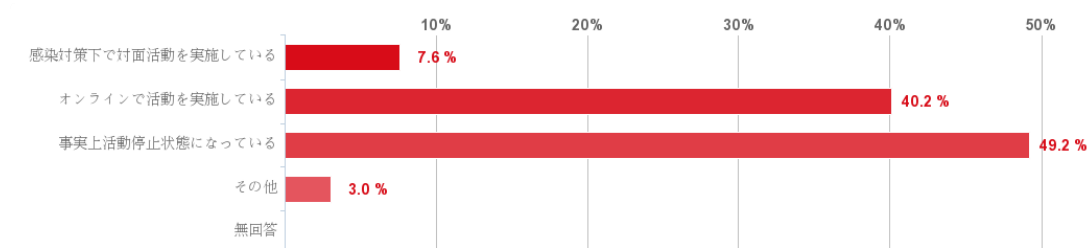
Q4.回答者のサークル・部活動など課外活動団体の参加状況



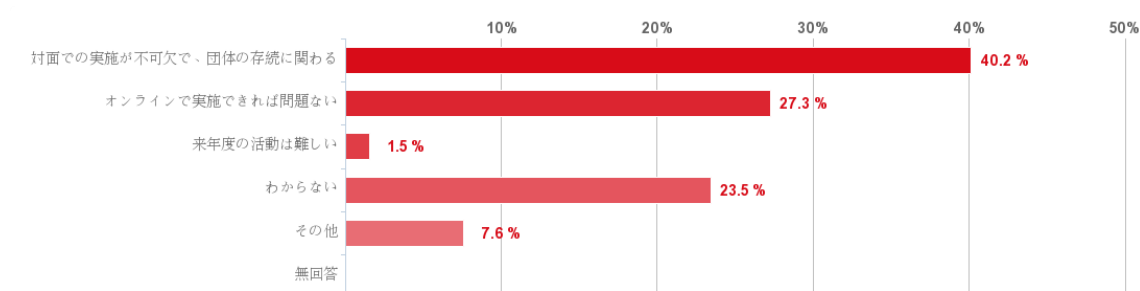
Q6.サークル活動に参加していない回答者の参加していない理由

- ・入るタイミングを逃した (12 件)
- ・活動自粛で参加するメリットがない(4 件)
- ・そもそも入る気がなかった(4 件)
- ・オンラインで家が遠い(4 件)
- ・課外活動内での感染が怖い(1 件)

Q7.現在の課外活動の形態



Q8.来年度の新歓に関して

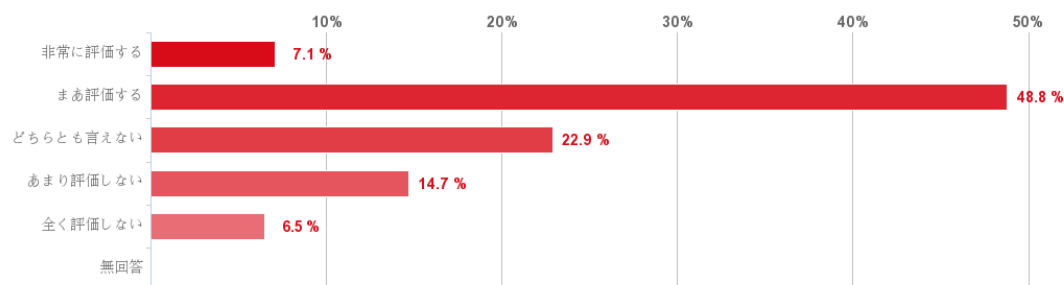


Q9.来年度の課外活動への要望

- ・ 対面での課外活動、新歓が必要である(18 件)
- ・ 学校施設の使用の許可(キャンプラ、コミプラなど)(6 件)
→結局学外施設を利用しているだけで感染リスクは変わらず、サークルに経済的な負担が回っている状況となっている。
- ・ 今年度サークルに入り損ねた 2 年生も 1 年生のようにサークルに参加できる機会が欲しい(5 件)
- ・ オンライン新歓であったとしてもテント列のような様々なサークルの情報が同時に入ってくる機会が欲しい(5 件)
- ・ 課外活動を許可して欲しい(4 件)
- ・ 試験や授業が対面であるならば課外活動も体面化して欲しい
課外活動が対面であるならば授業や試験も対面化して欲しい(3 件)
- ・ 一律の決定でなく従うべき明確なガイドラインに基づいて課外活動を許可して欲しい(3 件)
- ・ 新歓情報などを早めに知りたい(3 件)
- ・ 新歓はオンラインでやるべき(2 件)
- ・ インカレなどにおける学外生の入構の許可をして欲しい(2 件)
- ・ 構内のピアノなどの設備を使わせて欲しい(1 件)
- ・ 電子ビラは探しにくい。サークル関連のビラを詰めた封筒の配布などをして欲しい(1 件)

A セメスター授業関連

Q10.A セメスターの評価



Q11. 評価のポイント

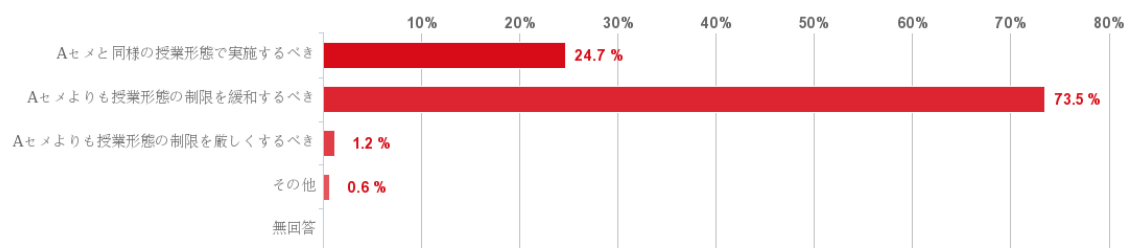
プラス評価

- ・対面試験を実施してくれたこと(32 件)
- ・教員、システムのオンライン対応が良かったこと(27 件)
- ・対面とオンライン授業のバランスが良かったこと(5 件)
- ・音楽論が履修できたこと(1 件)
- ・カリキュラム通りに学習が進んだこと(1 件)
- ・対面試験を実施してくれたこと(1 件)
- ・キャンパスでオンライン授業を受講できたこと(1 件)

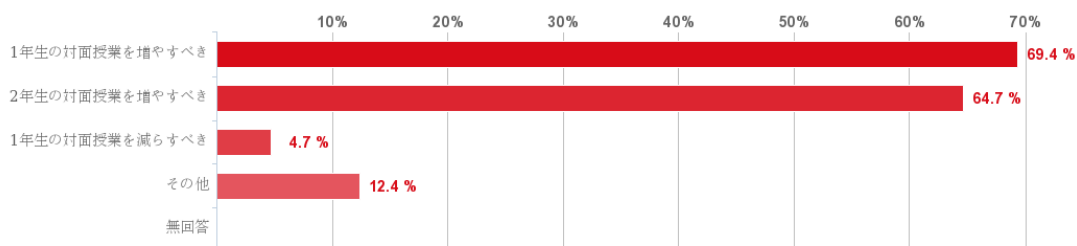
マイナス評価

- ・対面試験を増やして欲しい(9 件)
- ・対面の日が分散してしまうため、結局週に何回も密な電車に乗らなくてはならない(2 件)
- ・スポ身や基礎実験の対面授業を増やして欲しい(2 件)
- ・対面となるものとオンラインとなるものの授業の区別を明確化して欲しい(1 件)
- ・学生間の交流が未だ少ない(1 件)
- ・オンライン中心の授業はインターネットの接続が不安(1 件)
- ・対面での授業は感染が怖い(1 件)
- ・課題が多い(1 件)
- ・隔週での授業の実施は学習効果が低く感じる(1 件)

Q12.2021 年の授業形態に関する回答者の意見



Q13.Q12 に関して回答者が具体的に考えていること



Q14.Q 12,13 の回答の理由

「対面授業を増やすべき」と回答

- ・ 他人との交流が少なく孤独で精神的に不健康だから(40 件)
- ・ 2 年生の対面授業が一切ないという扱いが不満である(15 件)
- ・ オンライン授業は集中しにくい(10 件)
- ・ オンラインが噛み合っていない授業がある(7 件)
→英語、スポ身、実験、ディスカッション系、ALESS
- ・ オンラインは学習の質が下がってしまっている(4 件)
- ・ 進学前の重要な時期に家に誰の意見も聞けないため(4 件)
- ・ オンラインでは気軽に仲間に質問、意見交換などできない(3 件)
- ・ 試験のみ対面で実施しているのは意味がわからない(3 件)
- ・ 少人数科目は対面化してもらいたい(2 件)
- ・ キャンパスを満足に利用できていないため(2 件)
- ・ 授業での感染リスクは高くないと感ずるため(2 件)
- ・ クラス以外での対面授業の雰囲気を感じたいため(2 件)
- ・ 対面試験の際の感染対策は十分でない状態だったがクラスターの発生などは起きていないため(2 件)
- ・ モニターを長時間見ているのはやはり辛い(1 件)
- ・ 隔週での授業は毎週やっても良いと感ずるため(1 件)
- ・ 対策すべき事項が明確化されてきて、一律の制限が不要と感ずるため(1 件)
- ・ 中途半端に対面授業があると定期券を買う際などに不便が生じるため(1 件)

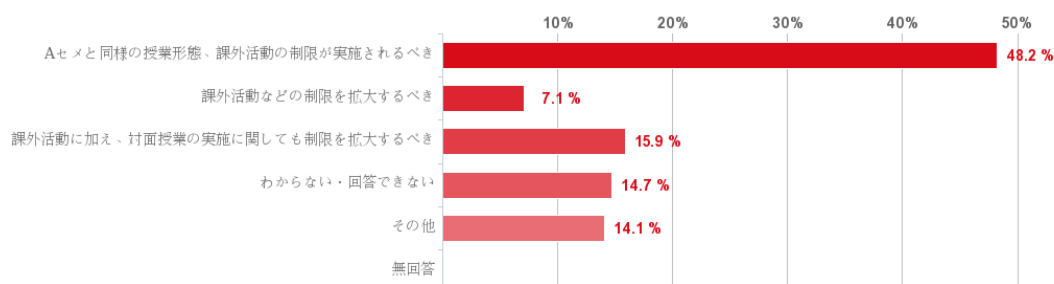
「対面授業を減らすべき」と回答

- ・ 現状のままで良いと感ずるため(3 件)
- ・ 通学しなくて良いのが便利であるため(1 件)

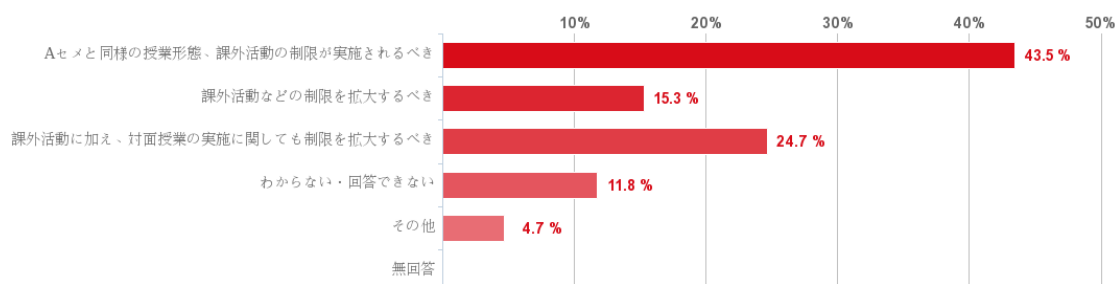
Q15.対面授業として扱って欲しい・引き続き扱って欲しい科目

- ・実験系の科目(14 件)
- ・すべての科目(13 件)
- ・第二外国語(13 件)
- ・スポ身（全週での実施）(9 件)
- ・少人数のゼミ(8 件)
- ・30 人程度の授業(7 件)
- ・第三外国語(7 件)
- ・英語類(5 件)
- ・必修科目(5 件)
- ・ディスカッション系(3 件)
- ・主題科目(3 件)
- ・総合科目(3 件)
- ・情報(2 件)
- ・FLOW、ALESS、ALES(2 件)
- ・クラス科目(1 件)
- ・TLP(1 件)
- ・フィールドワーク系(1 件)
- ・数学の演習(1 件)

Q16.感染状況が現在のままであったときの制限に関する意見



Q17.感染状況が悪化した時の制限に関する意見

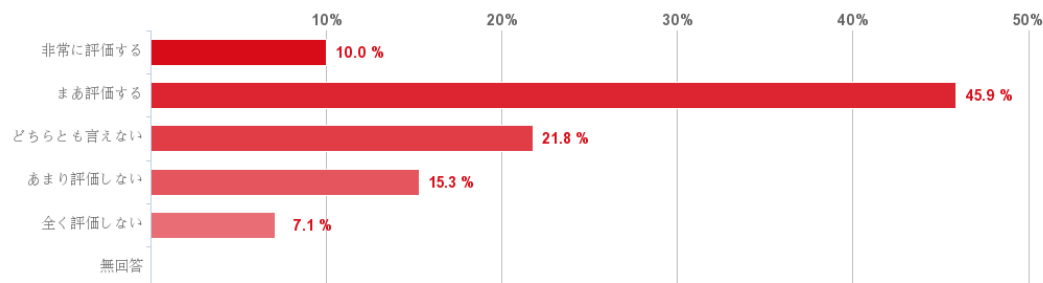


Q18.制限緩和がどのような条件のもと実施されるべきかに関する回答者の意見

- ・緊急事態宣言の解除(13 件)
- ・今すぐ(11 件)
 - 試験が密な状態で対面で実施されたのに対して課外活動の全面禁止は納得がいかない
- ・平均感染者数が 100 人～500 人を下回った時(7 件)
- ・平均感染者数が 1000 人を下回った時(5 件)
- ・ワクチンが普及した時(5 件)
- ・世間の対応に合わせるべき(4 件)
- ・医療現場の体制に合わせるべき(3 件)
- ・わからない(3 件)
- ・第二波前の状況に戻ったら(1 件)
- ・来年度になったら(1 件)
- ・一律の制限ではなく制限の規範を明確化すべき(1 件)
- ・若者の重症者数が増加傾向で無くなったら(1 件)
- ・制限をするのは良いが、緩和と制限が繰り返されるのは不便(1 件)

期末試験関連

Q22.期末試験に関する回答者の評価



Q23.Q22 の評価のポイント

対面試験に対してプラス

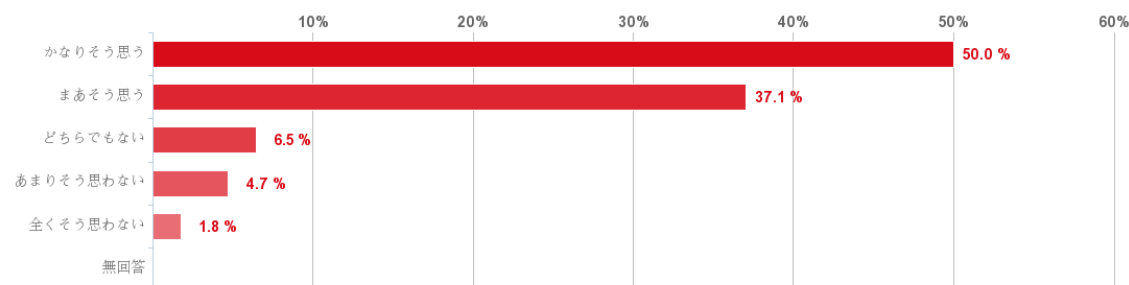
- ・対面試験ができて良かった(16 件)
- ・公正な試験が対面ではなされていた(9 件)
- ・オンライン試験よりは負担がなくて良い(3 件)
- ・代替申請が可能であった点が良い(3 件)
- ・特に困ったことなどがなかった(2 件)
- ・オンラインに適宜移行した科目があって良かった(2 件)
- ・この状況の中で対面試験を完遂したこと(2 件)
- ・オンライン試験と対面試験がほどよくありスケジュール的に楽だった(1 件)
- ・勉強しなくても良い成績が取れる点(1 件)
- ・レポートが減った点(1 件)
- ・オンライン試験での対応が良かった(1 件)

対面試験に対してマイナス

- ・試験だけ対面だったことの合理的な説明がなされていない(7 件)
- ・レポートでも評価が可能であるはずの試験があり不満(7 件)
- ・試験の教室が密な状態で不安を感じた(6 件)
- ・オンライン試験でも問題ないはずの試験があり不満(5 件)
- ・帰り道がかなり密であり不安を感じた(2 件)
- ・英語一列がいくらでも不正が可能な状態であった(2 件)
- ・オンライン対応が良くなかった(2 件)
- ・試験教室が寒かった(1 件)
- ・UTAS の試験日程に誤記載があって混乱した(1 件)
- ・試験の難易度が易化している(1 件)
- ・試験日程が直前まで変更があり混乱した(1 件)
- ・オンライン試験中の教員の指示で集中できなかった(1 件)
- ・オンライン試験と対面試験がまばらにあることで結局感染対策になっているのか不安であった(1 件)

情報関連・その他

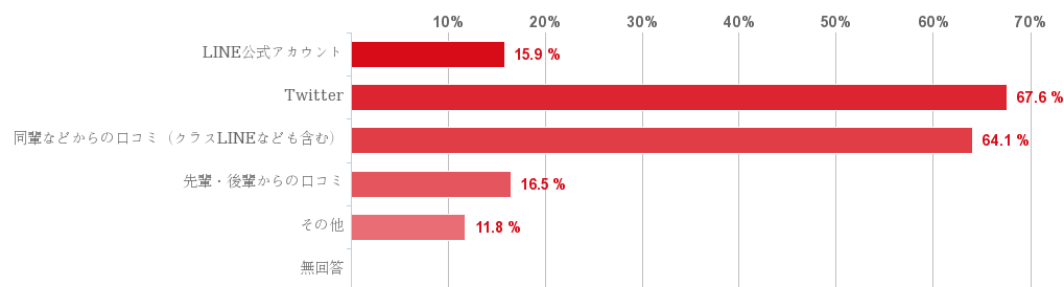
Q26.大学に関する情報がオンラインで得にくいと感じるか。



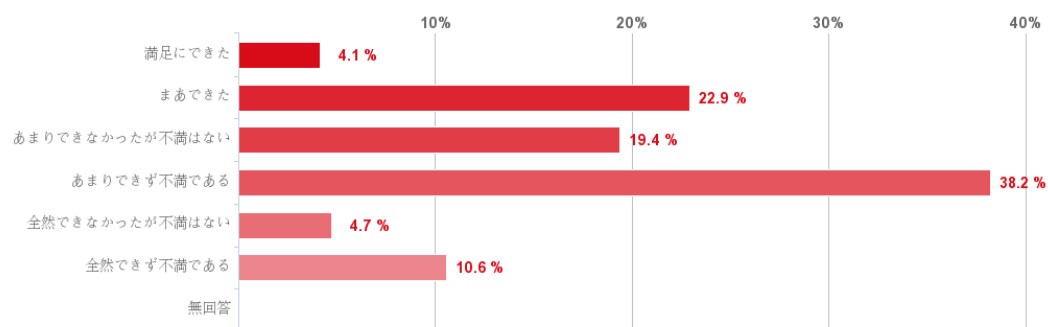
Q27.回答者が情報から取り残されてしまった情報

- ・履修関連（抽選科目など）(15 件)
- ・サークル関連(11 件)
- ・試験関連(9 件)
 - 試験日程に関して UTAS に誤記載があって混乱した
- ・学部説明会、進学関連(9 件)
 - 特に経済学部の情報が見つけにくかった
- ・自らの学修の進度に関して(4 件)
- ・過去問に関して(3 件)
- ・クラス関連(3 件)
- ・休みの日程に関して(1 件)
- ・どこから情報を得ていいのかわからない(1 件)
- ・UTAS を使いこなせない(1 件)
- ・バイト関連(1 件)
- ・駒場祭関連(1 件)
- ・生協関連(1 件)
- ・自分が何の情報を見逃しているかもわからない(1 件)

Q28.回答者がどのような媒体を用いて大学の情報を得ているか



Q29.2020 年度において新しい人間関係がどれくらいできたか



Q30.回答者のキャンパスへの入構頻度

一週間に 0 回：12.8 %

一週間に 1,2 回：66.3%

一週間に 3,4 回：16.3%

一週間に 5-7 回：1.7%